

鐘の音

Kane-no-ne

vol.27
2012.7 発行



▲会議の意思決定方法は、多数決だけではないことを学びました
(5/11 実施「ブラッシュアップ講座 ～円滑で有意義な会議の進め方～」)

特集 パートナーシップさいたまの情報・資料コーナーをご利用ください!

平成23年度 図書貸出ランキング	2
● 講座のお知らせ	3
● セミナーレポート	4
● ただいま活動中「さきたまフレンズ」	4
● 新編集員さんです!	5
● 女性の悩み相談 相談室から	5
● Book Navi 図書のご案内	5
● 施設・相談のご案内 / ほっとたいむ	6

パートナーシップさいたまの 情報・資料コーナーをご利用ください！

パートナーシップさいたまの情報・資料コーナーでは、男女共同参画に関する図書・行政資料・ビデオなどの閲覧、貸出を行っています。

ぜひお立ち寄りください。

●図書のジャンル

女性史 男性論 ジェンダー 家族 夫婦 結婚・離婚
働き方 カウンセリング ドメスティックバイオレンス 育児



▲情報・資料コーナー

●行政資料

地方公共団体発行の各種白書、男女共同参画推進団体が発行したニュースレター、パートナーシップさいたまで実施した講座の学習記録などが閲覧できます。

図書を借りるには・・・

●利用者登録をしてください。 市内在住・在勤・在学の方なら、窓口で利用者登録するとどなたでも借りられます（登録の際には、運転免許証や健康保険証などの身分証明書が必要です）。

●借りられる図書やビデオの数と期間 図書は3冊まで2週間、ビデオは2本まで1週間借りられます。

平成23年度図書貸出ランキング

★パートナーシップさいたまの蔵書
ならではのランキングになりました！

*タイトル/著者・編者

1位

女は後半からが面白い/坂東眞理子・上野千鶴子
気持ちが伝わる話し方/森田汐生
ディズニーの教え方/福島文二郎

2位

夫という名の他人/岡野あつこ
教育・家族をジェンダーで語れば/木村涼子・小玉亮子
女性のための老後を生きぬく110の知恵/野原すみれ
妻の離婚/五大純子
母に歌う子守唄/落合恵子

3位

アサーティブコミュニケーション/岩船展子・渋谷武子
怒ろう/パット・パルマー
磯野家の相続/長谷川裕雅
うまく別れるための 離婚マニュアル/石原豊昭・有吉春代・内海徹
おひとりさまの老後/上野千鶴子
カウンセリングの理論/國分康孝
グサリとくる一言から自分を守る方法/渋谷武子
こんな男とは絶対結婚するな/倉田真由美・福島みずほ
四十九日のレシピ/伊吹有喜
上司取扱説明書/藤野祐美
できるシングルマザー生活便利帳/新川てるえ・田中涼子
認知症と長寿社会/信濃毎日新聞取材班
「人と会うのがつらい」と思ったら読む本/鴨下一郎



講座のお知らせ

パートナーシップさいたま（大宮区）と、女・男プラザ（緑区）で8月以降に主催する講座のお知らせです。ぜひご参加ください。☆全講座託児付（1歳6ヶ月以上の未就学児）

女・男
プラザ

おもしろ科学実験&講演

回	テーマ	講師
1	光と虫めがねー牛乳パックカメラで写真を撮ろう	清水 龍郎さん (埼玉たのしい科学ネットワーク代表)
2	光と目と脳ー見ることと 思うこと	
3	講演:「でんき」の世界 に飛び込んで	長谷川 有貴さん (埼玉大学工学部助教)

日時 8/23(木)~25(土) (全3回)
10時~12時

会場 女・男プラザ (緑区)

定員 1・2回は30名 3回は60名

対象 市内在住の小3~中3女子と保護者

締切 8/10(金) 必着

*往復はがきによる申し込みです。詳細は女・男プラザにお問い合わせください

パートナーシップ
さいたま

世界に向き合う女性たち ~国際交流のさまざまな形~

回	テーマ	講師
1	異文化コミュニケーションの難しさはどうしてな んだらう?	根橋 玲子さん (明治大学大学院准教授)
2	途上国の妊産婦支援が東 日本大震災母子支援につ ながった!	小野 美智代さん (途上国の妊産婦支援 国際 協力NGO ジョイセフ)
3	アジアの手織りを介して 自立支援	佐野 汀さん (特定非営利活動法人 アジアを紡ぐ会)

日時 9/26~10/10 毎週水曜日
10時~12時 (全3回)

会場 パートナーシップさいたま 会議室3

定員 市内在住・在勤・在学の男女 24名

申込 9/3(月) 9時より

申込先 電話・FAX、又はEメールで住所・氏名・
電話番号、託児希望の方はお子さんの氏名
(フリガナ)、生年月日、性別をパートナー
シップさいたまへ

パートナーシップ
さいたま

女性カレッジ2012 今だから、女性史・ジェンダー

回	テーマ	講師
1	学ぶ意味・参加する想い をシェアしよう	パートナーシップさいたま 事業コーディネーター
2	古代・中世・近世の女性 通史	埼玉学園大学教授 服藤 早苗さん
3	近・現代の女性通史	総合女性史研究会 米田 佐代子さん
4	近・現代の「母性」の変遷	静岡英和学院大学 非常勤講師 小和田 美智子さん
5	学んだこと・想いをシェア しよう	パートナーシップさいたま 事業コーディネーター
6	ジェンダーについてI	元 和光大学教授 船橋 邦子さん
7	ジェンダーについてII	
8	学んだこと・想いをシェア しよう	パートナーシップさいたま 事業コーディネーター
9	男女共同参画について	埼玉大学准教授 金井 郁さん
10	全体の振り返り・シェア	パートナーシップさいたま 事業コーディネーター

日時 9/27~11/29 毎週木曜日
10時~12時 (全10回)

会場 パートナーシップさいたま 会議室3

定員 市内在住・在勤・在学の女性 24名

申込 往復はがきに住所・氏名・電話番号、在勤
の場合は在勤地、在学の場合は在学地、
託児希望の方はお子さんの氏名(フリガナ)、
生年月日、性別を記入の上、パートナーシ
ップさいたまへ

締切 9/14(金) 必着

セミナーレポート

パートナーシップさいたまで実施したセミナーをご報告します

ブラッシュアップ講座 ～経済を支える、輝く女性たち～

ワンランク上の「自分磨き」を目指すことを目的に、キャリアデザインやファシリテーションについて学びました。

★参加者の感想文から・・・

第1回 経済を支える、輝く女性たち (4/20)

・女性の社会における地位の低さが改めてわかった。ただ、その状況を変えようとする力を女性が出さないでいることも事実。社会の基の「家庭」で、男の子をどう育てているかが、今後の社会を変えていく、基本になっていくのではないかと思います。



第2回 キャリアアップに向けて (4/27)

・「キャリア」という言葉を聞いた時に、今までは、いかにスキルの高い経験や職歴があるのかといったようなイメージでしたが、'職業や働き方にアクセントを置いた人生航路'という解釈がとても良いなあと思いました。またキャリアを考える上で、次の世代にどんなキャリアを伝えたいかというのも、今後の人生にとってとても意味のある言葉でした。

第3回 円滑で有意義な会議の進め方 (5/11)

・ファシリテーターの心得7ヶ条のひとつ、親密さをもって楽観的・開放的な姿勢をもって関わるのが大事、という考え方は大変参考になりました。字面ばかりを追うのではなく、その場の雰囲気・環境も大切だと思いました。

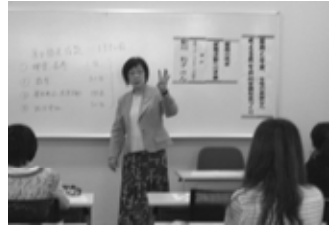
雇用と年金、女性の貧困から考える 男女共同参画社会づくり ～雇用・年金、貧困のいま そして、これから～

雇用や年金、貧困の現状などを学び、今後の生き方を考える上で大切な、社会状況の認識を深めました。

★参加者の感想文から・・・

第1回 雇用の現状 (5/29)

・働く女性の実情について理解することができました。自分自身を理解して、心地良く働ける場所を見つけたいと思いました。



第2回 年金問題の現状 (6/5)

・現在の制度の中でどうしていくか、という考え方のみではだめで、どうしたいか、という自分の考え方を持っていきたいと思っています。女性の働きが(家事・育児も含めて)正當に評価される、制度改正ができるよう、個人がどのように政府や行政に働きかけていけばいいのか、考えたいと思います。

第3回 日本の貧困の現状 (6/12)

・大人の責任、親の責任、社会の責任と大きくとらえると、自分に一体何ができるかと考えてしまいます。

第4回 女性(ひとり親家庭含む)の貧困の現状 (6/19)

・日本の経済が良くなる兆しが見えない今後、必要な制度については小中学校から教えて欲しいと思いました。

感
を
求
め
て
活
動
し
て
い
ま
す。
こ
れ
ま
で
に
行
っ
た
事
業
は、
モ
ン
ゴ
ル
へ
の
物
資
の
支
援、
バ
ン
グ
ラ
デ
ィ
ッ
シ
ュ
の
パ
ン
工
場
建
設
へ
の
支
援、
さい
たま
市
の
ハ
ン
デ
の
あ
る
子
供
達
へ、
国
際
ボ
ラ
ン
テ
ィ
ア
舞
踏
団
の
公
演、
ま
た
活
動
中
で
知
り
合
っ
た
ス
リ
ラ
ン
カ
の
人
か
ら
の
要
望
か
ら、
旧
浦
和
市
か
ら
救
急
車
3
台
を
贈
る
こ
と
が
出
来、
今
は
ス
リ
ラ
ン
カ
の
大
統
領
の
財
団
で
動
く
病
院
と
し
て
役
立
っ
て
い
る
そ
う
で
す。
今
年
は、
3・11
東
日
本
大
震
災
か
ら
学
ん
だ
非
常
食、
缶
詰
の
パ
ン
を、
私
達
の
県
や
市
へ、
備
蓄
用
と
し
て
い
き
た
い
と
準
備
中
で
す。
こ
の
パ
ン
は
救
缶
鳥
と
い
い、
日
本
の
み
な
ら
ず
世
界
ど
こ
で
も
届
く
こ
と
に
共
感
し
て
い
ま
す。
今
後、
皆
様
に
も
ご
協
力
を
お
願
い
いた
し
ま
す。
さ
き
た
ま
フ
レ
ン
ズ
会
長
 笹
原
 龍
一
(文
責
 会
長
補
佐
 藤
田
 昌
弘)



▲缶詰パン工場の視察にて

ただいま活動中
「さきたまフレンズ」
男女共同参画を目的に活動している
グループを紹介します

さきたまフレンズは、発足より17年が経ちました。当初は女性のみでしたが、現在は男性3名、女性17名の会となっています。長い間には、2名のメンバーが亡くなったり、様々なこともありましたが、皆で心を合わせ自分達が生きている限り何か役立っている実

新編集員のみなさんです!

『鐘の音』は市民公募の編集員のご協力により作成しています。

今号から新しいメンバーになりました。2年間、よろしくお祈りします!

五十嵐 一樹さん

男女のイコールパートナーシップ確立に向け、さいたま市の男性、女性に何かグローバルな視点で考えていただける紙面づくりができればと考えています。建設的な男女の関係の構築を目指します。

猪股 恵子さん

「女性カレッジ」を受講し、多くのことを学び、友人達もできました。

このパートナーシップという、恵まれた場所・機会を、少しでも多くの方々に知っていただけるよう、お伝えできればと思います。

桜井 由美子さん

「コミュニケーションアップをめざして」のテーマに魅かれ、昨秋の女性カレッジに参加させていただきました。固定観念にとらわれている事に気がきました。

『鐘の音』の編集を通じてまだまだ自分をステップアップさせたいです。

古瀬 和夫さん

定年退職後、地域の活動に参加するようになってから、実はさいたま市についてよく知らなかったことに気がきました。シニア世代の一員として、郷土についても学びつつ、『鐘の音』の編集に寄与できればと思います。

武藤 勝美さん

“孤独死”など複雑な社会へ進んでいます。地方行政の業務は、緊要なことばかりです。その一環としての広報・情報誌が分かり易いことは望まれていることです。微力ながらそのことに参画させてもらい、お役に立てば有難いことです。

女性の悩み相談 相談室から



「どんな事でも良いんですか?」「大した問題じゃあ無いかもしれないのですが・・・。」等と、受話器の向こうからの第一声。

どのような悩み事でも結構です。あなたにとっての気がかりな内容を、相談員とご一緒に考えてまいります。

例えば、予想もしなかったような出来事の連続に、不安や挫折感から日々の暮らしが空しく思えたりする事はありませんか。

なぜ自分は、思い通りにやれないのかと自分自身を責め、やり場のないイライラした気持ちになったり、或いは孤独感や罪悪感、そして自己嫌悪等、ますます自分を追い込んでしまいがちになったりしていませんか。

そんな時、電話でお話し致しましょう。

重苦しい胸の内を言葉にして伝えてくださることで、心に封じ込めてきた物事に、少しずつ風穴を開けていく一歩になればと思います。

また、話していくうちに自分でも気づけなかった事に視点が持て、問題解決に向けてのきっかけがつかめたり考え方を整理することにもつながります。

事の成行きを理解し決断する手立てとして、社会制度や他機関の情報など、必要に応じてご案内します。

お名前、ご住所は問いません。秘密は守られます。いつでも、どこからでも電話相談をどうぞご利用ください。お待ちしております。

(相談員 ○)

*相談実施の詳細については、p. 6をご覧ください。

BookNavi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

『定年前定年後』

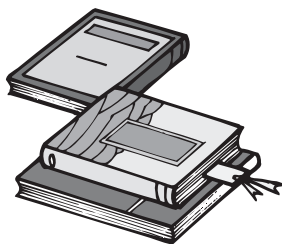
ニッセイ基礎研究所 2007年 〈朝日新聞社〉

サラリーマン生活も終盤にさしかかると、誰しも多少の不安はいだきつつも、定年後の自由な生活にあこがれるようです。しかし、その現実はどうなのでしょう。

本書は綿密なパネル調査やインタビューに基づいて、定年後に働く意味や、よりどころとなる家庭を見直すこと、また、社会活動を生きがいとするなど、定年後の生活について、示唆に富んだ指針を与えてくれます。

人生80年の時代を迎え、定年後、「これからの人生」をよりよく生きるためには、ライフデザインを自らが策定し、実行する気概が大切です。準備は早すぎることはありません。定年予備軍ともいえる現役世代の方々に、ぜひご一読をお薦めします。

(古瀬 和夫)



『高齢社会とあなた 福祉資源をどうつくるか』

金子 勇 著 1998年 〈日本放送出版協会〉

本書は、福祉資源としての介護保険・家族、さまざまな「人生の達人」たち、支え合う家族と個人、福祉資源としてのサービス組織・地域社会などの構成となっています。「家族」のところでは日本一の長寿県、沖縄と長野の家族関係を、事例をあげて比較しています(沖縄の場合「長寿要因関連図」)。また「人生の達人」のところでは、その具体的事例をあげて説明しています。その項目としては、「友人が最大の財産」、「身体を動かし、働くことが楽しい」、「淋しいから自分で忙しくする」、「元気な高齢者がますます多忙」、「高齢者の社会への関心は強い」などです。

さらに著者が、各地の高齢者インタビューで学んだことの要約が述べられています。「自宅から外に出ないと、友人は得られない」、「多方面での興味が健康を促進する」、「働き好きで、病院は遠い世界だった」、などです。

通読して、「高齢社会とあなた」というより、「高齢者のあなた」への指針、アドバイスが浮かんできます。

(武藤 勝美)

施設のご案内

パートナーシップ
さいたま

ひと ひと
女・男プラザ

場所	大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ3階	緑区中尾1440-8 プラザイースト3階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始

施設の利用

男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。
(パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと
女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)

情報・資料コーナー、交流コーナー

本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。
閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用でき
る交流コーナーもあります。

お問い合わせ	パートナー 048-642-8107	048-875-9966
--------	-----------------------	--------------

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-643-5813
月～金 / 10:00～20:00 土・日・祝 / 10:00～16:00	
ひと ひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9653
金 / 10:00～17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎ 048-829-6129
月・火・水・金 / 10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎ 048-840-6132
月・水 / 10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎ 048-790-0158
月・水 / 10:00～17:00	

●女性のための法律相談（予約制）

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第2・第4水曜日 / 13:00～15:30	
ひと ひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9966
第1・第3火曜日 / 13:00～15:30	

●女性のための心の健康相談（予約制）

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第4金曜日 / 13:30～16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほ
っ
と
た
い
む



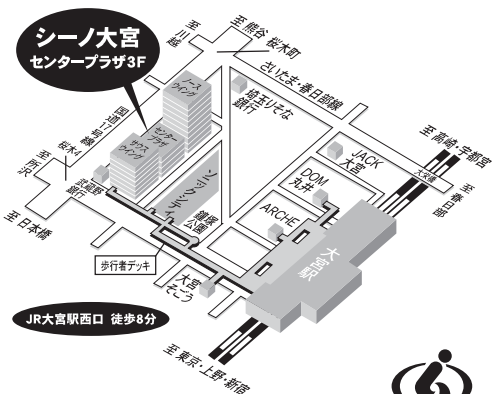
毎年いろいろなことが起こるのに、ち
やんと季節は巡ってきます。今まで経験
したことがないことを体験して、それ
も時が経てば、花が咲いたり、小さいこ
とも嬉しいことを見つかります。
年々年々、日常友人達の身体を心
配したり、家族のことを思ったり・・・
でも、反対に友人から「心配していた
と言われ、自分も心配されているのだと
ハツとしたり。
去年女性カレッジを受講して驚きました。
「こんなに、女性のことを真剣に心配
してくれる所があるのだ」と。
誰でも、困った時にパートナーシップ
を思い出して相談できたら、と思います。
その為の『鐘の音』であるかもしれま
せん。

(猪股 恵子)

新学期を機に心機一転を試みようと思
っていた。しかし気付いたら夏休みも目
前ではないか。また今回も失敗かあ・・・
子供たちに最低限の家事を教えたかつ
たのだ。いまは男女を問わず家事のノウ
ハウを知らないと将来苦労する。親の務
めでもあると思っている。我が家の子供
たちは、やる気がない。
「必要に迫られればするよ」「家の子
もしいよ」とママ友は言う。
経験した事ないことが、いざと言う時
に出来るのだろうか。食事の手伝いを頼
んでみた。「忙しいから後で・・・」と
流されてしまった。
親バカな私は心配しつつも黙認し、い
つか気付いてくれることを願っている。

(桜井 由美子)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで
お願いします。



《誌名「鐘の音」》
大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音
を響かせたい、その願いを込めて名づけました。
パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.27 2012年7月25日発行
＜編集・発行＞
さいたま市男女共同参画推進センター（愛称 パートナーシップさいたま）
編集員／五十嵐一樹・猪股恵子・桜井由美子・古瀬和夫・武藤勝美
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆

パートナーシップさいたま

検索

自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が
無料でご利用になれます。



7・11・3月発行（年3回）

この広報誌は4,300部作成し、1部当たりの印刷経費は17.2円です。